

15周年を迎えて新たな挑戦!

「コミュニティ・サポートセンター神戸」

利用者で賑わう 新オフィス

「コミュニティ・サポートセンター神戸(以下、CS神戸)は、15年にわたり250もの市民活動団体を支援し、「自立と共生」の「コミュニティづくり」を目指してきた。

設立のきっかけは、CS神戸理事長の中村順子さんが、阪神・淡路大震災直後に「何かしなければ」という強い思いに駆られ、「東灘地域・助け合いネットワーク」の活動をスタートさせたことにある。同ネットワークを母体に、地域課題の解決に向けた市民活動を応援する組織として、平成8年にCS神戸を設立した。

15周年を迎えるCS神戸は、今年5月にJR住吉駅前に事務所を移転。レストランだった店舗を改装して事務所仕様にしたのは、CS神戸がNPOの立上げを支援した大工の市民活動グループだ。明るく素敵な事務所になり、好立

地ということもあって、利用者は以前の倍になった。

事務所内には、就業・起業を支援する「生きがいサポートセンター!」や「フラビー」や事務所を持たない市民活動団体がオフィスとして活用できるインキュベーションオフィス3団体のブースがあるほか、週2回の丹波の有機野菜販売などで大いに賑わっている。「異質のものを組み合わせ、刺激し合うこと」で、成長できるのがこのオフィスのいいところと中村さんは言う。

「よりあいステーション」を 支援!

CS神戸は15周年の特別支援事業として、10月に「よりあいステーション」を東灘区内3か所にオープンする。

中村さんが提案するのは、従来の地域社会の枠にこだわらない、地域の人々が自由に選べる「コミュニティ」。地域活動に参加しやすい



いろいろな人が行き交う新オフィス～野菜販売も～

に入っていたNPO法人「薫風」かあるびそを例に挙げ、「出会った当初は、夢を実現できずにしよぼんとしていた若者が、今では独立してイキイキと活動している。若い人がこの世界で頑張っている姿を見るのが一番うれしい」と語る。

一方で、700万人ともいわれる団塊世代の社会貢献活動の促進を強調する。「NPO村」みたいな拠点をいっぱい作って、団塊世代がイキイキと活動し、若い人達に道筋を作ってつなげていけるようにしてきたい。」

豊かな発想で新しい活動の構想を語る中村さんの姿に、暮らしやすい社会を目指す真剣な姿勢が伺えた。

若い世代に つなげていきたい

CS神戸ではコミュニティづくりを担う人材の育成も重視している。中村さんは、旧事務所ですら年間インキュベーションオフィス

特定非営利活動法人
コミュニティ・サポートセンター神戸
〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町5-2-2
ビュータワー住吉館104
☎078-841-0310 FAX078-841-0312
ホームページ
<http://www.cskobe.com/>